

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1163	(H.28)No.	1163
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと能文化振興事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	502501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	ふるさと能文化振興事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	ふるさと能文化振興事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3 市民文化の創造
	施 策	1 文化振興
重点プロジェクト	3.生涯現役プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
「能楽のふるさとづくり」を目指して、伝統文化の伝承・発展や市民の充実した文化活動ができるよう支援を行います。名張の特色ある文化を育みながら、積極的に発信していきます。
事業内容
総合計画でもうたわれている「能楽のふるさとづくり」の実践のため、「観阿弥創座の地」を情報発信するイベントの開催や、子ども狂言の会への支援・協力を行っています。 平成29年5月に、名張子ども狂言の会が名張ユネスコ協会から「くまのたからもの」に認定されたことを受け、名張市観阿弥顕彰会と共催で、名張能楽祭をADSホールで開催し、より一層の能楽振興を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援 報償費 1,828千円 旅 費 0千円 需用費 86千円 委託料 62千円 使用料 176千円	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援 報償費 2,033千円 旅 費 11千円 需用費 93千円 委託料 67千円 使用料 208千円	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		2,151千円		2,412千円	2,230千円	2,230千円	2,230千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()		2,151		1,500			
一般財源	0	0	0	912	2,230	2,230	2,230
人工数							
職員		0.20人		0.30人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	1,500千円	0千円	2,250千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
①+②総事業費	0千円	3,651千円	0千円	4,662千円	3,730千円	3,730千円	3,730千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
能楽のふるさとづくりの取組として、観阿弥祭、名張能楽祭を開催しました。名張子ども伝統芸能祭りを市民団体と共催して実施しました。「能楽のふるさと名張」の実践のため、子ども狂言の支援と関連するイベントを実施するなど、名張の特色ある文化を育む取組を進めました。観阿弥顕彰会ならびに美旗まちづくり協議会と協働して、事業を推進しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
引き続き子ども狂言の会への支援を行うとともに、名張能楽祭の開催など地域づくり組織と協働しながら「能楽のふるさとづくり」の取組を進めます。名張能楽祭の開催にあたっては、より多くの市民に参画いただけるよう取組を進めます。また、民間助成を活用してイベントを開催し、より一層の情報発信に努めます。	